

令和4年度

事業報告

社会福祉法人 能美市社会福祉協議会

■令和4年度事業報告

・ 総括	・・・・・・・・ 1
1. 住民参加・住民主体で地域福祉を推進する社会福祉法人の運営	・・・・・・・・ 4
2. 社会福祉関係者が一丸となった地域福祉活動への支援	・・・・・・・・ 7
3. 福祉意識の醸成のための福祉教育の推進と住民の互助活動の支援	・・・・・・・・ 7
4. 生活上の多様な問題の相談窓口の開設及び生活支援サービスの提供	・・・・・・・・ 15
5. 居宅介護支援事業所の運営	・・・・・・・・ 15
6. 老人福祉センターの管理運営	・・・・・・・・ 15

令和4年度事業報告

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として続く中、不安定な雇用環境にある方やひとり親世帯など、生活基盤の脆弱な方々の生活課題・福祉課題が深刻化、複雑化、そして長期化が顕在化した年でした。

そして、コロナ禍において人と人とが互いに距離を取り、触れ合う機会を減らすことが求められ、地域住民等による地域福祉活動やボランティア活動への取り組みが躊躇され、その影響から、「地域力の低下」や「地域福祉活動やボランティア活動の担い手不足」等の課題が浮き彫りになった年でもありました。

このような中を生きる私たちは、地域コミュニティの在り方やセーフティネットの構築に今後、いかに取り組んでいくかという知恵と工夫が求められていると考えています。

法人運営においては、コロナ禍の中、オンラインによるライブ配信研修会（いきがい・助け合いサミットin東京）、石川県社会福祉協議会トップセミナー等へ参加し「共生社会の推進」について知識を深めました。

会員会費の募集については、「推進月間」を従来の時期に戻し、7月から取り組み、福祉のまちづくりへの理解と参加を働きかけました。

能美市社会福祉大会については、10月に福祉功労者等表彰の贈呈式、引き続き講演とパネルディスカッションという形で開催しました。講演は、能美市地域福祉計画と能美市地域福祉活動計画の両計画の4次計画が同期で策定されたことを受け、「地域共生社会の理解と取り組み」というテーマで行いました。

また、広報活動として、社協広報誌やホームページに加え、新たにフェイスブックやインスタグラムを開設し、SNSによる福祉・ボランティアの情報発信の強化に取り組みました。

第4次能美市地域福祉活動計画の1年目の推進は、能美市が進める「地域共生社会」の各事業と連携しながら、活動計画を推進する3委員会（以下「3委員会」という）と進捗状況を確認するための「こころ豊かな地域づくりの会」の活動に取り組みました。進捗状況を市民に報告する機会である「春まちぼかぼかプロジェクト」は、3委員会からの活動報告と「こころ豊かな地域づくりの会」を中心とした内容で、各プログラムの内容にかかるかわら版の作成に加え、支え合い助け合い活動を市民に広く周知するために、ダイジェスト版の動画を作成し、ホームページにアップするなどしました。年度末には1年目の推進にかかる評価委員会を開催し、各委員会からの自己評価及び今後に向けての視点と取り組みを確認しました。

（評価委員会の評価は別途報告）

能美市から受託した「地域福祉委員会活動推進員養成・活動支援事業」、「生活支援サービス基盤整備事業」及び「地域力強化推進事業」は、地域福祉活動の基礎組織として、町会・町内会に設置された地域福祉委員会が、町会の中で生活上の困りごとの課題や個

別の支援について話し合い、力をあわせて、見守りや助け合いの活動に取り組めるよう引き続き支援をしました。

いきいきサロンや地域福祉委員会については、感染予防対策に工夫しながら、徐々に再開されており、担当職員（CSW＝コミュニティソーシャルワーカー（以下、「CSW」という）が、地域に出向き、課題の把握から、のみ地域力強化支援ファンドの申請につながるような地域活動の支援を行いました。

生活支援としては、賞味期限が残っている食糧をご寄付頂くフードドライブ、及び、支援を必要としている方々にお配りするフードパントリーをそれぞれ開催したほか、移送支援として地域福祉委員会へ車両つなぐ号を貸し出すなどし、住民レベルの生活支援の活動に取り組めるよう支援をしました。

能美市から受託した「生活困窮者自立相談支援事業」では、生活に困窮する方々の相談支援の機関として、傾聴等による寄り添いやアウトリーチ、そして「家計改善支援員」による家計相談を併せて行い、他機関とのネットワークによる支援等に力を入れ、一人ひとりの状況に合わせた支援を行いました。

同じく能美市から受託した「成年後見制度利用促進事業」は、成年後見制度の周知、利用に関する相談、及び権利擁護支援の地域連携ネットワークづくりに取り組み、市民に身近な相談機関として周知啓発のための研修会等も開催することができました。

一方、石川県社会福祉協議会から受託した「生活福祉資金貸付利用相談事業」では、令和2年3月から新型コロナウイルスの感染症の影響による休業や失業で生活資金にお悩みの方への生活福祉資金貸付制度の特例制度（緊急小口資金・総合支援資金）が9月末で終わり、令和5年1月からその償還が開始されたことを受け、償還が困難な方への相談を中心に市民の生活を支えるための相談に対応しているところです。

同じく石川県社会福祉協議会の受託事業である「福祉サービス利用援助事業」では、ケースを通じ、各地区あんしん相談センター、医療機関、消費生活相談室、弁護士、福祉事務所等の連携が更に進んできたところですが、今後は、成年後見制度との連携にも配慮しながら、支援を充実していきたいと考えています。

ボランティア・コミュニティ活動支援センターの運営では、ボランティア講座の開催を通じて、若い世代への福祉教育を継続的に進める中で、ジュニアボランティアクラブでは、令和3年度に引き続き、市内の社会福祉法人にも協力を頂き、明日を担う子供たちとその親世代に対して、ボランティア意識の醸成に取り組みました。

しかし、コロナ禍の影響を受け、ボランティアグループの活動休止や自粛等が長引いており、センターに登録するボランティアグループ数も減少しています。交流の場、連携の場、学びの場等を工夫しながら開催し、人材発掘、人材育成に努めていくことが必要であると考えています。

市内3地区全域で、高齢、障がい、生活困窮等の包括的な相談を受ける体制が整う中、寺井あんしん相談センターの運営については、精神障害、アルコール依存症、8050問題、支援拒否など多様で複合的なケースに対する対応や外出の機会が減った高齢者に対する介護予防の周知啓発等に重点的に取り組みました。

能美居宅介護支援事業所については、職員2名体制の中、厳しい経営が続いていますが、質の高いケアマネジメントを提供できるよう努め、各地区あんしん相談センターやくらしサポートセンターのみ等と連携を深めながら、困難ケースを積極的に受け入れてきました。社会福祉協議会の在宅サービスの一環として、地域の福祉に貢献しているところです。

老人福祉センター「白寿会館」と「亀齢荘」の2館を指定管理者として受託、コロナ禍においても高齢者等の生きがいがづくり、介護予防や社会参加の機会を継続して運営しました。

最後に令和4年8月、南加賀地方を中心にした大雨で、特に山間部で多くの被害が発生したことにより、能美市からの要請を受け、初めて災害ボランティアセンターを運営しました。能美市民防災ネットワークの協力を得、ふれあいプラザに本部、寺島町にサテライトを構え、多くのボランティアの善意の活動により、迅速な災害復旧を支援することができました。

災害ボランティアセンターの運営という災害時における住民同士のたすけあい活動の総括としては、長期化するコロナ禍と、「普段からの地域のつながりづくり」という原点を改めて確認できたことで、研修の内容、会議の形態等にも工夫をしながら地域福祉活動やボランティア活動を推進、実践してきました。

また、生活困窮者への相談支援、フードドライブ、フードパントリー開催等の生活支援等の対応では、企業や専門機関や専門職との新たなつながりをすすめることができました。

依然として厳しい経済状況が長引いている中ではありましたが、アフターコロナ、ウイズコロナを見据え、これまでのノウハウをベースに、能美市が掲げる「共生社会の実現」の推進に寄与することができたことを報告します。

令和4年度における事業の状況は、次のとおりであった。

1. 住民参加・住民主体で地域福祉を推進する社会福祉法人の運営

(1)理事会、評議員会、各種委員会の開催

①理事会（5回）、評議員会（4回）、評議員選任・解任委員会（3回）、監査会（1回）をそれぞれ開催した。

会議名	開催回数	開催日	開催場所	案件	出席人数
理事会	第73回	6月6日	ふれあいプラザ	①令和3年度事業報告、会計計算書類及び財産目録の承認について (監査報告) ②評議員の選任候補者の推薦について ③第13回評議員選任・解任委員会の招集について ④理事候補者について ⑤任期満了に伴う次期理事候補者について ⑥定時評議員会(第68回評議員会)の招集について	理事8名 監事2名
	第74回	12月2日	ふれあいプラザ	①理事候補者について ②評議員の選任候補者の推薦について ③第14回評議員選任・解任委員会の招集について ④令和4年度会計収支1次補正予算(案)について ⑤福祉サービスに関する苦情解決の実施規程に基づく第三者委員候補者の選考について ⑥第69回評議員会の招集について	理事8名 監事2名
	第75回	12月20日	ふれあいプラザ	①副会長の選定について	理事10名 監事2名
	第76回	2月24日	書面表決	①理事候補者の選定について ②第70回評議員会の招集について ③評議員選任候補者の推薦について ④第15回評議員選任・解任委員会の招集について	理事10名 監事2名

理事会	第 77 回	3 月 20 日	ふれあい プラザ	①評議員選任規程の一部改正について ②令和 4 年度会計収支 2 次補正予算 (案) について ③令和 5 年度業計画 (案) 及び会計収 支予算 (案) について ④第 71 回評議員会の招集について ⑤役員等賠償責任保険契約について	理事 10 名 監事 2 名
評議 員会	第 68 回	6 月 22 日	寺井地区 公民館	①令和 3 年度事業報告、会計計算書類 及び財産目録の承認について (監査報告) ②理事の選任について ③任期満了に伴う次期理事の選任につ いて	評議員 15 名 監事 2 名
	第 69 回	12 月 20 日	ふれあい プラザ	①理事の選任について ②令和 4 年度会計収支 1 次補正予算 (案) について ③福祉サービスに関する苦情解決の実 施規程に基づく第三者委員の承認につ いて	評議員 12 名 監事 2 名
	第 70 回	3 月 6 日	書面表決	①理事の選任について	評議員 19 名
	第 71 回	3 月 28 日	ふれあい プラザ	①評議員選任規程の一部改正について ②令和 4 年度会計収支 2 次補正予算 (案) について ③令和 5 年度業計画 (案) 及び会計収 支予算 (案) について	評議員 16 名 監事 2 名
評議員 選任・ 解任 委員会	第 13 回	6 月 14 日	ふれあい プラザ	} 評議員の選任	委員 5 名
	第 14 回	12 月 12 日	書面表決		
	第 15 回	3 月 14 日	書面表決		
監査会	5 月 24 日		ふれあい プラザ	令和 4 年度監査	監事 2 名

②第4次能美市地域福祉活動計画の推進委員会及び評価委員会等を開催した。

ア 推進のための3委員会

- ・ここに寄り添い合う人づくり委員会・・・9回開催
- ・見守り・助け合い推進委員会・・・10回開催
- ・くらし応援委員会・・・11回開催

イ 進捗状況を確認し合うための委員会

- ・こころ豊かな地域づくりの会・・・4回開催

ウ 年度ごとの推進状況を評価するための委員会

- ・評価委員会・・・2回開催

③表彰審査会の開催（社会福祉功労者等表彰・能美たすかったわ〜大賞・“きらり★ふくしの魅力”フォトコンテスト）各1回開催した。

(2) 会員会費の募集

7月から12月まで会員会費の募集に取り組み、まちぐるみで地域福祉活動を進める気運を盛り上げた。・・・資料1

(3) 社会福祉大会の開催

第18回能美市社会福祉大会を開催し、地域福祉活動に功績のあった個人や団体に社会福祉功労者等表彰を授与し、地域ぐるみの福祉意識の気運を盛り上げた。

日時：10月2日（日）13時30分～16時30分

会場：辰口福祉会館

社会福祉功労者等表彰を24名3団体に授与

講演：「能美市地域福祉計画と能美市地域福祉活動計画の両輪で地域共生社会の実現をめざして」

講師：同志社大学 社会学部 教授 永田 祐 氏

参加者：165名

(4) 春まちぽかプロジェクトの開催(2月18日(土)～25日(土)の8日間)

①第4次能美市地域福祉活動計画の1年間のまとめの報告と関連事業を開催した。

(計15プログラム)

②ボランティア等活動紹介のパネル展示「ふくしの魅力発信！！ぽかぽかパネル展示」を開催した。

③「能美たすかったわ〜大賞」は、大賞1点、一般の部優秀賞2点、小学生の部優秀賞5点を表彰した（応募総数857作品）

「“きらり★ふくしの魅力”フォトコンテスト」は、最優秀賞1点、優秀賞2点、審査委員特別賞1点を表彰した。（応募総数55作品）

④フードドライブを実施した。

⑤ぽかぽかミニコンサート(寺井老人福祉センター亀齢荘)、ぽかぽか演芸ショー(老人福祉センター白寿会館)で各1回開催した。

(5)福祉、ボランティア情報の発信

- ①広報誌「ほほえみ」(年4回) ほほえみ 68号から71号を発行した。
- ②地域福祉・ボランティア活動報告集を発行した・・・資料2
- ③ホームページの他、フェイスブック・インスタグラムを随時更新し運営した。
- ④支え合う福祉のまちづくり講座を開催した・・・19回開催

(6)愛の福祉基金事業の実施

市民の善意による寄付金(9件総額6,662,900円)を愛の福祉基金として積み立てた。

2. 社会福祉関係者が一丸となった地域福祉活動への支援

3. 福祉意識の醸成のための福祉教育の推進と住民の互助活動の支援

(1)福祉関係者が行う地域福祉活動への支援(コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の配置)

①地域福祉委員会

1	地域福祉委員会への支援	根上地区 21ヶ所 寺井地区 23ヶ所 辰口地区 47ヶ所	91ヶ所	市内全町(内)会に設置済み。
	活動ヒント探し講座「入門編」の開催	8月30日 ～11月11日 (全4回)	地域福祉に対する理解のための入門的研修及び実習	25町(内)会より、講座受講修了者36名を地域福祉委員会活動推進員に登録した。 ※登録累計436名
	活動ヒント探し講座「実践編」の開催	9月28日 ～12月6日 (全3回)	各町(内)会で地域の課題把握のための手法として「住民流支え合いマップづくり」を行った。	地域福祉委員会活動推進員のいる5地域・地区福祉委員会が受講した。参加者は17名(下ノ江サントウン,辰口町,緑が丘3,緑が丘6,緑が丘10)
	「活動推進会議」の開催	6月27日～30日 「地域福祉委員会活動連絡会」 会場：根上総合文化会館、寺井地区公民館、辰口福祉会館 ②2月23日 「地域福祉セミナー」 会場：寺井地区公民館	①地域福祉委員会の必要性について理解促進を図り、地域での見守り・助け合い活動を推進した。 ②地域福祉委員会における助け合い活動の拡充と周知、啓発を図った。	①参加者177名 ②参加者110名 令和4年度に実践編を修了した地域福祉委員会81地域(地区)福祉委員会

2	いきいきサロン活動への助成 ※いきいきサロンとは町(内)会、単位で行われている高齢者等の閉じこもりの予防や見守りのつどい	根上地区	設置数 20 ヶ所 延べ参加者数 2,817 名 延べボランティア数 930 名	開催回数 162 回
		寺井地区	設置数 22 ヶ所 延べ参加者数 3,441 名 延べボランティア数 796 名	開催回数 304 回
		辰口地区	設置数 37 ヶ所 延べ参加者数 3,151 名 延べボランティア数 681 名	開催回数 217 回
		会員会費を財源とし、いきいきサロン活動費 総額 2,763,000 円を助成		
	一人暮らし高齢者昼食会への助成	地域福祉委員会(いきいきサロン)が自治公民館等を会場に開催する一人暮らし高齢者昼食会に対し、助成した。	実施町(内)会 29 町(内)会 参加者数 246 名 対象者 1 名あたり 700 円を助成、 総額 172,200 円を助成	
	おでかけサロンへの助成	地域福祉委員会(いきいきサロン)で一人暮らし高齢者を含む参加者同士が、交流しながらおでかけする機会に対し、助成した。	実施町(内)会 16 町会 実施回数 23 回 参加者数 延べ 396 名 1 町(内)会年 3 回まで 7,500 円を助成、 総額 172,500 円を助成	
3	いきいきサロンボランティアと福祉推進員合同研修会の開催	3月30日(木) 会場：ふれあいプラザ	内容：「ふくし×ICT活用入門講座」ラインの活用を学ぶ	参加者 23 名
4	福祉推進員の研修	・研修に向けて福祉推進員連絡会を1回開催 ※いきいきサロンボランティア研修会と合同開催	活動費 1 人当たり 5,000 円 125 名 総額 625,000 円を助成	
5	地区担当職員(CSW 8名の配置(兼務) ※地区担当制	ア 開催の案内のあった地域福祉委員会の会合 494 回の内、要請に応じ CSW は 138 回出務した。 イ 地域の課題を持つ人にかかわる地域の支援者の後方支援を行い、地域づくりをすすめた。また、日常生活の困りごとのニーズ把握や解決に向け関係機関や地域と連携を図り、地域との関係づくりをすすめた。 ウ 住民流支えあいマップづくりを支援した。		

- ②市及び3地区の民生委員児童委員協議会の事務局を担当し、活動を支援した。
- ③福祉団体(市・3支部の老人クラブ連合会、市・3支部の身体障害者福祉協議会、市母子寡婦福祉連合会)の各事務局を担当し、活動を支援した。
地域福祉活動を推進するグループや団体の事務局を担当し、活動を支援した。
- ・まだまだ元気な高齢者サポートグループほがらか会の事務局を担当し活動を支援したほか、利用者の送迎用車両を貸出した。
※ほがらか会は、能美市の総合事業の通所B(住民主体の通いの場)にあたる活動

ほがらか会の開催状況は下記のとおり

	施設名	開催日と開催回数	延べ参加者数	延べボランティア数
根上会場	白寿会館	毎週木曜日・46回	244名	182名
寺井会場	亀齢荘	毎週金曜日・48回	239名	98名
辰口会場	辰口福祉会館	毎週火曜日・48回	197名	98名

- ・能美市民防災ネットワーク（委員17名＋オブザーバー1名）の事務局を担当し、共に活動した。

※町会・町内会、壮年団、婦人会、民生委員・児童委員、防災士、子育て支援団体等によるネットワークの会。防災意識の醸成や啓発、助け合いを基盤とした災害時の災害ボランティアセンターの周知などを目的とした活動を行う。

定例会6回、能美市防災フェスタ、ボランティアフェスティバルに参加
研修会1回（春まちぽかぽかプロジェクト）

8月の大雨の際には、災害ボランティアセンターの運営に協力

- ④のみ社会福祉法人連絡会の事務局を担当し、活動を支援した。

※市内9法人で組織。社会福祉法人が地域福祉の担い手として地域の福祉ニーズの解決のため、それぞれの専門性を活かしながら、連携して地域公益活動に取り組むことで、地域福祉の増進に寄附することを目的として活動を行った。

会員：市内9社会福祉法人（喜峰会、泰耀、湯寿会、なごみの郷、南陽園、陽翠水、佛子園、めばえ保育園、能美市社会福祉協議会）

（2）見守りネットワークの推進

ふれあい弁当を実施した。

- ・一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等に対し、のみ社会福祉法人連絡会の会員法人が調理する「ふれあい弁当」を民生委員・児童委員、福祉推進員等が配達することにより、見守るための訪問の機会につなげた。（1食200円）

実施回数：月2回（第1・3水曜日）3地区合計69回実施

根上地区	利用実人数	23名
	延べ提供食数	384食
	延べ協力ボランティア数	154名
寺井地区	利用実人数	19名
	延べ提供食数	330食
	延べ協力ボランティア数	201名
辰口地区	利用実人数	15名
	延べ提供食数	314食
	延べ協力ボランティア数	200名

※1月分のお弁当には福梅を添え、利用者にお正月の雰囲気味わってもらった。

※中学生のボランティア活動をして弁当を配達する「ふれあい訪問」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため（根上中）、大雪のために（寺井中・辰口中）中止となった。

- ・産前・産後2カ月までの方がいる核家族世帯に対し、のみ社会福祉法人連絡会の会員法人が調理する「子育て応援弁当」を主任児童委員が配達することにより、子育てを地域で応援した。（1食250円 3食目350円）

実施回数：年間 67 回（毎月 6 回 第 1～4 水曜日、第 2・4 金曜日）

利用実人数：26 名

延べ提供食数：742 食

(3)ふれあいの場や交流の場づくりの推進

①親子サロン（親子がふれあう場づくり）を開催した。

市内 3 会場で、就学前の子どもとその親・祖父母等が、気軽にふれあい、ほっとできるような集う場を運営した。子育て経験をもつ市民 6 名をスタッフとして雇用し、経験を活かしてママ友相談も併せて行う機会もつくった。

	施設名（会場）	開催日と開催回数	延べ参加者数
根上会場	西二口町公民館 (西二口コミュニティセンター)	毎週水曜日・45 回	182 名・83 組の親子
寺井会場	栗生コミュニティセンター	毎週木曜日・43 回	356 名・168 組の親子
辰口会場	岩内コミュニティセンター	毎週火曜日・43 回	271 名・126 組の親子
※ミニ運動会 6 月 21 日(火)寺井中央児童館にて開催			44 名・21 組の親子
※絵本カフェ 2 月 19 日(日)ふれあいプラザにて開催(のみん広場)			51 名
3 月 16 日(木)西二口町公民館			20 名

- ・ほっとあんしんサロン（介護をしている（していた）方々の思いを語り合う場づくり）を開催した。
介護者の日頃の介護に対する思い、老年期を迎える不安等について、思いを語り合う機会として、年 11 回、毎月第 2 水曜日にふれあいプラザで開催した。能美市介護を考える会の協力を得て開催、延べ参加者は 80 名であった。
- ・福耳ネット、ぬくもりサロン（聴覚・視覚等コミュニケーションに不都合な方がふれあい集う場づくり）を開催した。

サロン名	開催日・開催回数	会 場	延べ参加者数	内 容
聴覚に不都合のある方のつどい 「福耳ネット」	第 4 水曜日 年 11 回	寺井地区公民館	41 名	交流と情報交換 手話サークル めだかの協力
視覚に不都合のある方のつどい 「ぬくもりサロン」	10 月 19 日 (水) 11 月 15 日 (火) 12 月 23 日 (火) 1 月 17 日 (水)	ふれあいプラザ 小舞子温泉足湯 道の駅めぐみ白山 ふれあいプラザ ふれあいプラザ	23 名	交流と情報交換 ボランティア ほおずきの協力

②ふれあい福祉交流会は中止した。

※レクリエーションを通じ、障がいや認知症の有無にかかわらず、ふれあい交流する場
福祉関係団体による実行委員会準備会において、コロナ禍のために中止を決定

③福祉バスの貸出した。

福祉バス1台を地域福祉委員会いきいきサロンが実施する一人暮らし高齢者等のおでかけサロン等、外出の機会を支援した。(貸出：37回)

④こころに寄り添い合う人づくり講座(こころに寄り添い合う人づくり委員会主催)を開催した。

月 日：2月19日(日)

会 場：ふれあいプラザ

内 容：身体障がいのある方や、知的障がいのある子の母親の思いを聞き、こころに寄り添い合う意識づくりの機会とした。

参加者数：60名

* その他、放課後児童クラブと放課後等デイサービスに通う児童がボッチャ体験を通して交流を行った。(年間3回)

(4)生活支援体制の基盤整備の推進(生活支援コーディネーター9名の配置)

①1層(市全体を単位とする)生活支援コーディネーター1名を設置した。

②2層(中学校区を単位とする)生活支援コーディネーター8名の計9名を配置し、地域での生活支援の取り組みを進めた。市生活支援サービス推進協議体と連携した。

地区別2層生活支援コーディネーター会議 9回

1、2層生活支援コーディネーター会議 3回

③ フードドライブ・フードパントリーを実施した。

生活困窮や支援を必要な子育て世帯等への支援としてフードドライブを実施した。寄付された食品は、くらしサポートセンターが支援を必要としている方や子ども食堂へ渡した。

フードドライブの実施：4回(8、10、12、2月) 計 2,869品の寄付

企業・団体からの寄付：北陸電力株式会社小松支店・NGKセラミックデバイス株式会社・株式会社ヨネモリ・日本郵便株式会社 加賀南部地区連絡会能美部会・前田製菓株式会社・カーブス能美寺井・吉川農園・大成町内会・浜開発町内会・泉台町会・粟生町会・粟生町歩歩笑美くらぶ・のみ商業協同組合・石川勤労者医療協会(健康友の会)・のみ社会福祉法人連絡会・能美市民生委員児童委員協議会・能美市職員互助会・寺井校下女性会・能美市立宮竹小学校・能美市立国造保育園

フードパントリーの実施：7回 *詳細はP20, P22参照

④つなぐ号貸出事業を実施した。(買い物や外出支援活動の支援)

町(内)会(地域福祉委員会)の買い物・外出支援の活動を対象に、本会が借り受けた市商工まちづくり研究会所有の車両と、能美市より生活支援車両の運営を受託し、合わせて2台を貸し出した。

貸出先：粟生リンクの和

貸出実績：60回

延べ利用者：221名

(5) ボランティア・コミュニティ活動支援センターの運営(ボランティアコーディネーターの配置)

ボランティア・コミュニティ活動支援センターを運営し、福祉の人づくりや地域づくりを進めた。ボランティアセンターだよりもホームページにて、ボランティア情報を発信した。

① ボランティアに関する相談窓口

〈登録〉 83 グループ 3,049 名 (R5. 3. 31 現在)

〈ボランティア保険加入助成〉 総額 1,067,150 円

〈相談・斡旋〉 66 件

〈ボランティア機材の貸出〉 146 件

	貸出内容	機 材	件数
1	町(内)会のふれあい行事 (いきいきサロンを含む)	綿菓子・ポップコーン・かき氷製造器・ プロジェクター、ストラックアウト等	85
2	学校等での福祉体験	車いす	16
3	ボランティアグループの活動	アンプ、マイク、DVD	21
4	福祉施設	車いす・輪投げ	12
5	その他、個人への貸し出し	車いす	0
6	要介護の移動	車いす	12
	合 計		146

〈各種の収集窓口(ボックス)の設置〉

老人福祉センター「白寿会館」、老人福祉センター「亀齢荘」、G-Hills、ふれあいプラザに収集窓口としてボックスを設置した。

収集物	収集取扱い団体	送付先	用途
プルタブ	能美市社会福祉協議会 ボランティア・コミュニティ活動支援センター	令和4年度に集めたプルタブは、 <u>合計約 67.8 kg</u> 金属廃品回収業者に売却、換金し、施設等に福祉用具を寄贈するための資金として積み立てた。	
ベルマーク	ボランティアグループ 「山ぼうしの会」等	ベルマーク財団へ	ベルマークは1点1円になる。一部は発展途上国の教育支援に使われ、一部が集めた地域の学校教育備品の購入に使われる。
使用済インクカートリッジ	石川県社会福祉協議会 ボランティアセンター	キャノン・エプソン・リコーなどの企業へ	使用済インクカートリッジの回収を通じて、ベルマーク運動に参加。用途はベルマークに同じ。
古切手、書き損じハガキ 使用済プリペイドカード等		公益財団法人ジョイセフ(家族計画国際協力)へ	アジア・アフリカ中南米の発展途上国の保健活動(予防接種や保健師の活動)の助成に使われる。

②福祉教育の推進及び福祉の人材育成のために、各種ボランティア講座を開催し、ボランティアへの関心を掘り起こし、その活動を支援した。

事業（講座）名	実施月・回数	参加人数	内 容
ジュニアボランティア クラブ・・・資料3	10～12月 (全4回)	小学生と その保護者 計 25名 延べ81名	市内社会福祉法人の協力を得て企画 ・ボランティア入門 ・地域にある福祉施設の取り組みについて ・障がいのある方々のお仕事体験 ・高齢者疑似体験や高齢者施設の利用者の方々とZoomで交流 ・障がい者週間のイベントに協力 ・歳末たすけあい街頭募金活動
中学生ボランティア チャレンジ体験	11月～3月		中学校生徒会が自分たちで体験を企画 【根上中学校】 ・コンタクトケースの回収運動 【寺井中学校】 ・コンタクトケースの回収運動 ・赤い羽根共同募金活動 ・エコキャップ・プルタブの収集 【辰口中学校】 ・ひまわりの種の収穫と配付
高校生ボランティア チャレンジ体験	12月～1月		① 高校生ボランティアチャレンジの意義を知る “読み聞かせ“のコツと基礎を学ぶ 「さゆりの会」中田 紀子氏 ② 読み聞かせの練習 ③ 能美市豊美保育園での実践
企業ボランティア セミナー	2月28日	18名	株式会社 ヤクルト能美サービスセンター 認知症について学び、超高齢社会における地域での支え合いの理解を深めた。

- ・福祉協力校に指定、活動助成をした。
- ・市内6小学校（2校は県社協指定校）、3中学校、1高等学校を対象とし、総額960,000円を助成した。
- ・福祉協力校連絡会を開催した。
日 時：8月25日（木）13時30分～15時00分
会 場：根上総合文化会館 円形ホール
参加者：27名
講 演：「能美市だからこそできる、福祉教育について考える！！」
講 師：富山国際大学 子ども育成部 教授 村上 満氏
- ・福祉協力校における福祉教育カリキュラムなどに情報提供するなどし、支援した。（講師の派遣、情報提供）

③市ボランティア連絡協議会の活動を事務局として担当、支援した。

(能美市ボランティア連絡協議会情報誌「ボラはあと」の年2回発行支援含む)
 ボランティアグループ6グループの活動に対し計263,000円を助成した。
 (要件有：共同募金財源による)

香害認知を広める会(36,000円)、中庄町丸いも倶楽会食育グループ(50,000円)、
 オカリナ倶楽部九谷まほろば(50,000円)、舞踊集団菊の会(50,000円)、
 辰口地域更生保護女性会(27,000円)、のみ♡子育てネットワーク(50,000円)

④災害ボランティアセンターの設置・運営をした。

8月4日(木)、記録的な集中豪雨により災害が市内で発生し、能美市災害対策会議の決定、要請を受け、能美市地域防災計画に基づき社会福祉協議会が、翌5日(金)ふれあいプラザに能美市災害ボランティアセンター本部を、また、主に被害が集中している寺島町にサテライトを設置・運営した。

設置場所 本部：ふれあいプラザ サテライト：こくぞう里山公園交流館

設置・運営期間 本部：8月5日(金)～8月26日(金)22日間

サテライト：8月6日(土)～8月11日(木)、8月21日(木)7日間

運営延人数 本部：66名 サテライト：130名 計196名

ニーズの内訳 121件受付(108件完了、13件キャンセル)

※主に家屋の泥だし、家屋洗浄作業、災害ごみ処分・移送作業

ボランティア受付人数：本部：254名 サテライト：360名 計614名

ボランティア活動延人数：608名

⑤第15回能美市民ボランティアフェスティバルを開催した。

市民の福祉・環境・健康・生活と多岐にわたるボランティア活動に取り組んでいるグループや個人が一堂に会し、その活動を広く市民に情報発信するボランティアフェスティバルを市民による実行委員会形式で開催した。

日時：10月23日(日)

場所：辰口福祉会館

参加団体：53団体

参加人数：約500名

⑥一人暮らし高齢者等へ傾聴ボランティアを派遣した。

傾聴ボランティアの訪問	石川県が、H23年度に開催した傾聴ボランティア養成講座の受講修了生が、能美市で傾聴ボランティアとして登録、活動した。 また、傾聴ボランティア「うなづき」の年間6回の専門研修や連絡会の実施を支援した。	訪問対象者は6名 (一人暮らし高齢者等) 登録した傾聴ボランティアは25名 年間28回訪問
-------------	--	--

⑦視覚障害のある方へ広報「のみ」等の音訳テープを提供した。

音訳テープの提供	視覚に不都合のある方に対し、音訳ボランティアたんぽぽの協力を得て、広報のみ、議会だより、社協広報誌ほほえみをテープに音訳、提供した。	各図書館に音訳テープを設置
----------	--	---------------

4. 生活上の多様な問題の相談窓口の開設及び生活支援サービスの提供

(1) 寺井あんしん相談センターの運営・・・別記1 P. 16 ～ P. 19

(2) ぐらしサポートセンターのみの運営・・・別記2 P. 20 ～ P. 23

5. 居宅介護支援事業所の運営・・・別記3 P. 24 ～ P. 26

(1) 能美市社会福祉協議会能美居宅介護支援事業所の運営

6. 老人福祉センターの管理運営

(1) 老人福祉センター白寿会館の管理運営

(2) 寺井老人福祉センター亀齢荘の管理運営

① 老人福祉センター（老人福祉センター白寿会館・寺井老人福祉センター亀齢荘）を運営した。運営状況は以下のとおり

	開館日数	延べ利用者数
白寿会館	258 日	16,509 名
亀齢荘	332 日	32,352 名
計		48,861 名

【能美市寺井あんしん相談センターの運営業務報告】

1. 総括

高齢者をはじめ、障がい者や生活困窮者などの総合相談窓口の拠点となれるよう、あんしん相談センターの事業の運営を能美市より受託し、相談に応じ、支援した。また、自立支援・重症化予防を基本とした介護予防プランの作成及び、能美市地域包括ケアシステムの構築を推進した。

2. 事業状況

① 総合相談支援業務

- ア 高齢者をはじめ、障がい者や生活困窮者などの相談に応じ、関係機関に繋いだ。
- イ 複数の課題を抱える世帯に対し、関係機関と連携、課題を共有すると共に、必要に応じてケア会議を開催し、課題解決に向けての支援の方向性を検討した。

② 権利擁護業務

- ア 成年後見制度・権利擁護に関する相談に応じ、くらしサポートセンターのみと連携し、成年後見制度の広報・周知を行い、成年後見制度や福祉サービス利用援助事業の利用に繋げた。
- イ 高齢者虐待については、相談5件中、4件を能美市の虐待判定会議に繋ぎ、虐待対応計画に基づいて対応した。また、虐待通報がされにくい中、総合相談の段階からアンテナを立て、早期発見を心掛け、成年後見制度の相談等も併せて、権利侵害の防止や早期対応に努めた。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

- ア 各地区あんしん相談センターが連携してケアプラン会議を開催し、自立支援を目的としたプランの検討及びプランを作成する介護支援専門員に対し支援・指導をした。また、介護支援専門員が相談しやすい対応を心がけ、困難事例を一人で抱え込まないよう支援し、相談に応じ、必要時、センター内で討議を図り、困難事例検討会や支援チーム会議の活用提案、地域ケア会議の開催等に繋げるなどした。
- イ 地域における連携・協働の体制づくりのため、地域ケア会議を手法とし、個人や地域の課題を発見し、地域づくりに繋がるよう話し合いをした。また、民生委員や町会長等の地域の方と、医療や介護の専門職、CSWなど多職種の関係機関とのネットワーク作りを推進した。

④ 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント支援業務

- ア 要介護者や事業対象者が、主体的に介護予防・自立支援に取り組むために、

自己選択、決定できるよう配慮しながら介護予防プランを作成し、支援した。
イ 一般介護予防事業の地域介護予防活動支援事業である、「おげんき倶楽部のみ」や「のみ活倶楽部」に出向き、参加者の状況を把握するとともに、介護予防の普及啓発に取り組んだ。必要時、出前講座等の開催で実態把握を行った。

⑤ 地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み

ア 地域生活医療コーディネーター、第二層生活支援コーディネーター、認知症地域支援推進員、地域ケア会議推進員関係にそれぞれ担当職員を配置するとともに、在宅医療と介護連携の充実を推進する専門部会「メモリーケア・ネットワーク能美」、強い互助づくりの支援体制を構築する専門部会「生活支援サービス推進協議体」と連携し、積極的に課題に取り組んだ。

イ 寺井地区を単位とした日常生活圏域会議を1件、関係機関を単位とした課題別検討会議を14件、個別のケースに関する関係者が参加するネットワーク会議を35件開催した。日常生活圏域会議では、人生会議についての講義を石川県訪問看護ステーション連絡会にお願いした。また、あんしん相談センターの活動報告を行い、相談内容からみえてきた課題について報告し、今後の支援に繋げることを圏域関係者で確認した。

ウ 地域での出前講座11件、認知症サポーター養成講座1件を開催し、介護予防に対しての啓発、理解を広げた。

⑥ 職員の資質向上

石川県、能美市、各職能団体等が実施している研修会に積極的にオンラインにて参加した。研修参加後は復命書を回覧することでセンター職員全員が共有し、必要な知識や技法等の取得に努めた。

⑦ R4年度の重点的な取り組み

ア 介護予防の取り組み強化

⇒地域活動への積極的な参加。介護予防や認知症予防の出前講座の開催をした。

イ あんしん相談センターの周知活動を行い、早期に相談に繋がるように努めた。

⇒初回相談者がどこから情報を得て、相談に至ったかを分析し、チラシの設置を公民館へお願いした。

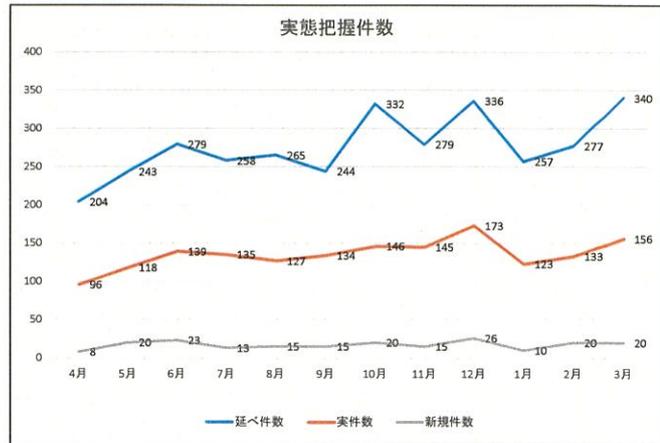
ウ 地域ケア会議や地域福祉委員会等で地域や関係者と連携・協働して課題解決を図った。

⇒複合世帯の支援や支援者に対する支援ができるように、関係者間で話し合いを重ねた。

令和4年度 能美市寺井あんしん相談センター 実績報告

1. 実態把握件数

	延べ件数	実件数	新規件数
4月	204	96	8
5月	243	118	20
6月	279	139	23
7月	258	135	13
8月	265	127	15
9月	244	134	15
10月	332	146	20
11月	279	145	15
12月	336	173	26
1月	257	123	10
2月	277	133	20
3月	340	156	20
合計	3,314	1,625	205
前年度	3,359	1,579	198



2. 実態把握・相談の状況

	窓口	電話	訪問	高齢者福祉訪問	その他	合計
4月	25	110	58	1	11	205
5月	42	118	69	2	13	244
6月	54	132	74	1	18	279
7月	39	139	68	1	11	258
8月	36	154	66	1	6	263
9月	40	137	53	0	13	243
10月	52	201	66	0	12	331
11月	38	138	71	1	31	279
12月	40	172	101	3	19	335
1月	50	149	39	1	19	258
2月	42	162	52	2	21	279
3月	33	205	72	1	29	340
合計	491	1817	789	14	203	3,314
前年度	562	1,753	849	29	166	3,359

3. 地域活動支援・出前講座の状況

	地域活動支援	出前講座	認知症サポーター養成講座
4月	8	3	0
5月	4	0	0
6月	8	0	0
7月	11	5	0
8月	4	0	0
9月	4	1	0
10月	8	0	0
11月	7	0	0
12月	4	1	0
1月	1	0	0
2月	3	1	1
3月	4	0	0
合計	66	11	1
前年度	52	5	1

4. 地域ケア会議（高齢者を含む障がい者、困窮者等）

	日常生活圏域会議	課題別検討会議	ネットワーク会議
4月	0	2	2
5月	0	1	2
6月	0	1	4
7月	0	1	1
8月	0	0	3
9月	0	4	3
10月	0	0	4
11月	0	1	3
12月	0	0	2
1月	0	1	3
2月	0	3	3
3月	1	0	5
合計	1	14	35
前年度	1	52	56

5. 連絡調整業務の状況

	介護認定申請受付	高齢者福祉に係る受付	住宅改修・福祉用具に係る受付
4月	14	2	1
5月	17	2	1
6月	28	1	1
7月	23	5	4
8月	21	3	3
9月	24	1	2
10月	33	5	2
11月	21	7	5
12月	21	4	2
1月	30	6	1
2月	18	4	2
3月	26	14	0
合計	276	54	24
前年度	286	70	65

6. 介護予防支援

	直営プラン	外部委託プラン	委託料支払額 (A)	合計プラン件数	合計収入額 (B)	センター収入 (B) - (A)
4月	20	44	191,520	64	292,320	100,800
5月	20	45	204,680	65	302,700	98,020
6月	21	50	212,170	71	325,980	113,810
7月	24	49	221,970	73	352,740	130,770
8月	22	48	206,140	70	315,600	109,460
9月	21	44	191,520	65	296,700	105,180
10月	21	47	213,710	68	321,840	108,130
11月	19	46	197,880	65	289,320	91,440
12月	16	50	212,170	66	301,080	88,910
1月	18	47	199,010	65	293,700	94,690
2月	19	48	203,140	67	299,460	96,320
3月	17	53	238,490	70	330,600	92,110
合計	238	571	2,492,400	809	3,722,040	1,229,640
前年度	251	525	2,272,250	776	3,567,690	1,295,440

7. 介護予防ケアマネジメント

	直営プラン	外部委託プラン	委託料支払額 (A)	合計プラン件数	合計収入額 (B)	センター収入 (B) - (A)
4月	20	17	64,350	37	125,060	60,710
5月	19	12	39,120	31	92,280	53,160
6月	19	11	37,600	30	81,900	44,300
7月	19	12	42,120	31	101,030	58,910
8月	18	12	39,120	30	90,400	51,280
9月	19	11	34,990	30	98,900	63,910
10月	20	12	39,120	32	104,910	65,790
11月	22	14	54,570	36	132,180	77,610
12月	23	16	62,510	39	137,070	74,560
1月	23	16	50,100	39	118,570	68,470
2月	24	16	45,200	40	111,950	66,750
3月	22	14	39,550	36	99,930	60,380
合計	248	163	548,350	411	1,292,180	743,830
前年度	243	174	588,880	420	1,313,780	724,900

8. 介護予防ケアマネジメント 内訳

	スマイルヘルパー / スマイルデイサービス	徳幸ライフ教室 / 徳幸ライフ訪問リハビリ	あんしんサポーター / はつらつデイサービス	たすけあいサポーター / ほがらか会
4月	12	5	16	4
5月	11	2	13	5
6月	10	2	13	5
7月	11	3	12	5
8月	11	3	11	5
9月	11	5	10	4
10月	11	6	11	4
11月	11	7	13	5
12月	12	6	16	5
1月	12	4	18	5
2月	12	5	18	5
3月	11	4	17	4
合計	135	52	168	56
前年度	128	67	170	48

9. 障がい者や生活困窮者(64歳以下)の相談の状況

業務内容	件数	前年度
障がい者の相談(延)	194	243
生活困窮者の相談(延)	40	33
支援チーム会議参加・地域ケア会議開催	3	7

【くらしサポートセンターのみ 事業報告】

1. 総括

様々な問題により日常生活を送ることが困難に感じている方などに対し、生活困窮者自立相談支援事業を軸として、各種の相談事業と一体的に取り組み、社会的孤立者や経済的に困窮する恐れのある方が、困窮状態からの早期の脱却や権利を守られながら、住み慣れた地域で安心、安全に生活できることを目標に、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。

2. 事業状況

①生活困窮者自立相談支援事業

ア 自立相談支援事業の実施

生活困窮者の困りごとに関する相談に幅広く応じ、相談者の状況に合わせた自立に向けた支援計画を作成し、就労支援を行う等、伴走による支援を行った。

イ 家計改善支援事業の実施

家計に問題を抱える世帯に対し、相談者とともに家計の状況を明らかにして課題を把握し、家計の改善の意欲を引き出せるよう相談支援を実施した。

ウ 支援調整会議

毎月開催し、関係者による支援計画の検討、情報共有、連絡調整を行った。

エ 民生委員・児童委員等の地域の支援者や、あんしん相談センター、相談支援事業所、居宅介護支援事業所等の地域の様々な関係機関と連携し、ネットワークづくりに取り組んだ。

オ 生活困窮者に対して、生活状況に応じて個別にフードドライブの食糧を配付し、生活が維持できるよう支援した。また、フードパントリーを開催し、支援を必要としている方々に食糧を配付するとともに、相談窓口の周知を行った。

②福祉サービス利用援助事業の実施

高齢や障がいなどで判断能力に不安のある方や日常生活に不安のある方が、地域で安心して生活ができるように、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭の管理等を支援するとともに、必要に応じて関係機関と連携を図った。また、利用者の状態の変化により支援が困難になったときには、成年後見制度の利用の移行支援を行った。

③能美市福祉資金貸付事業及び石川県生活福祉資金貸付事業（石川県社会福祉協議会より受託）の実施

ア 能美市福祉資金では、低所得世帯等に対し、経済的自立と生活意欲の助長、促進を図るために、資金の貸付を行った。

イ 石川県生活福祉資金では、所得が少ない世帯、障害者世帯、高齢者世帯、失業された方等が安定した生活が送れるように、資金の貸入に関する相談支援を行った。

ウ 新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し生活に困窮する方に対して、生活福祉資金の特例貸付の相談窓口を周知するとともに、貸付や償還の相談支援を行った。また、相談の中から生活困窮者自立相談支援事業に繋げ、困窮状態から脱却できるよう支援した。

④歳末お見舞金の贈呈

歳末時にあたたかいお正月を迎えられるよう、歳末助け合い募金の配分金を財源とし、福祉施設入所者等の方々に、民生委員・児童委員の協力を得てお見舞金をお贈りした。

⑤弁護士・行政書士の無料専門相談等事業

弁護士や行政書士が、日常生活の中で起きる法律に関わる問題について、無料で相談に応じた。

⑥心配ごと相談所の運営

民生委員・児童委員や人権擁護委員、行政相談委員が相談員として、市民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言、指導を行い、住民の福祉の増進を図った。

⑦成年後見制度利用促進事業の実施

ア 認知症や知的障害、精神障害等で判断能力が不十分な方々の権利を擁護するために、中核機関として成年後見制度の周知、利用に関する相談支援を行った。また、制度利用後も後見人等へのバックアップ体制として活動支援を行った。

イ 市民に対してセミナーを開催し、成年後見制度の理解を深めた。

*成年後見セミナー 令和5年2月24日(金) 参加者数35名

ウ 成年後見制度利用検討ガイドラインを作成し、市内病院や介護・障害事業所等に配付した。

エ 地域や福祉、医療、金融、行政に司法を加えた、多様な分野・主体が連携する、権利擁護支援の地域連携ネットワークづくりを目的とした会議(能美市成年後見地域連絡協議会)を開催した。

*第1回地域連絡協議会 令和4年9月8日(木)

*第2回地域連絡協議会 令和5年3月9日(木)

⑧福祉移送サービスの運営

公共交通機関を利用しにくい方の移動を車いす対応車で支援した。(要件有)

⑨生活支援たすけあい・ライフサポーター(介護予防・日常生活支援総合事業のうち、訪問型サービスB(住民主体による援助))の派遣

ア 1~6期受講修了生による「たすけあい・ライフサポーターえがお会」の研修会等、その活動を支援した。

イ あんしん相談センターからの依頼に応じて「たすけあい・ライフサポーター」を派遣した。

① 生活困窮者自立相談支援事業

- ◎自立相談支援事業プラン件数 18件
- ◎家計改善支援事業プラン件数 11件
- ◎相談件数

	新規件数	実件数	延べ件数
4月	9	53	150
5月	8	43	125
6月	11	48	135
7月	1	39	128
8月	9	53	126
9月	2	33	77
10月	3	32	120
11月	12	39	130
12月	4	37	81
1月	6	36	108
2月	5	37	79
3月	7	61	117
合計	77	511	1,376

◎新規年代別内訳

20代	6
30代	10
40代	14
50代	18
60代	7
70代	8
80代	5
不明	9

◎新規男女別内訳

男性	44
女性	33

◎食糧支援

- ・パントリー 7回
(内、子ども学習応援パントリー3回、能美市母子寡婦福祉連合会パントリー1回)
- ・生活困窮者個別支援（事業所等からの個別支援依頼含む） 260回
- ・団体への配布

団体名	利用回数
能美子ども食堂ネットワーク	16
能美市国際交流協会	13
行政（福祉課、いきいき共生課）	19
その他	2
合計	50

② 福祉サービス利用援助事業

◎契約件数

認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計
22	3	8	1	34

③ 生活福祉資金貸付事業

- ◎能美市福祉資金 利用件数 7件
不能欠損 1件

◎石川県生活福祉資金

資金の種類	件数
福祉資金（福祉費・緊急小口資金）	32
教育支援資金	4
総合支援資金	18
離職者支援資金	3
臨時特例つなぎ資金	2
合計	59

延べ相談件数	67
--------	----

◎《新型コロナウイルス特例》緊急小口資金・総合支援資金

*申請（令和4年4月～令和4年9月末）

資金の種類	件数	決定金額
緊急小口資金	21	3,750,000円
総合支援資金	14	7,010,000円
合計	35	10,760,000円

延べ相談件数	93
--------	----

*償還 相談窓口の周知のためのチラシ・ポスターの設置 36箇所

延べ相談件数	59
--------	----

④ 歳末お見舞い金贈呈事業

在宅対象者 208名 福祉施設入所者 88名

対象者総数	296
-------	-----

⑤ 弁護士・行政書士の無料専門相談等事業

◎弁護士無料法律相談

実施回数	36
相談件数	133

◎行政書士無料相談

実施回数	12
相談件数	36

⑥ 心配ごと相談所の運営

◎相談件数

	根上地区	寺井地区	辰口地区	合計
4月	0	2	0	2
5月	2	1	1	4
6月	0	2	0	2
7月	0	2	1	3
8月	2	1	0	3
9月	2	1	1	4
10月	1	1	0	2
11月	0	3	1	4
12月	0	1	0	1
1月	1	1	2	4
2月	2	1	0	3
3月	0	1	1	2
合計	10	17	7	34

⑦ 成年後見利用促進事業

◎相談件数

認知症高齢者等	知的・精神障害者等等	その他	合計
23	3	10	36

⑧ たすけあいライフサポーター（訪問型サービスB）

◎利用件数

利用者数	派遣件数（延べ）
3	117

⑨ 福祉移送サービス

内容	実績
登録者数	22
延べ利用件数	121
稼働実日数	58

【 能美市社会福祉協議会能美居宅介護支援事業所 事業報告 】

1. 総括

事業所のケアマネジャーは社会福祉士、介護福祉士とそれぞれが持つ資格を活かし、各地区のあんしん相談センターやくらしサポートセンターのみ、各種関係機関等と連携を図りながら、処遇困難なケースにも積極的に取り組めた。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、利用者が自立した生活を送るため、意向を尊重しながら特定のサービス事業所に偏ることがなく、公正中立な支援ができた。

2. 運営状況

経営の改善を目指し、毎月定例の経営会議を継続したことにより、目標としていた請求件数を推移してきたが、令和5年度の1名体制への変更に伴い、1月以降は目標件数の達成が厳しくなった。

3. 事業状況

- ① 介護サービスに関する相談では、介護保険の代行手続きや住宅改修等の各種相談に対応した。
- ② 希望に沿ったケアプラン（居宅サービス計画）の作成では、利用者の心身の特性や置かれている状況を踏まえて、自立した日常生活が送れるように支援した。また、24時間連絡体制を確保し、状況に合わせ調整を行った。
- ③ 事業所の資質向上のため自己評価や、介護サービス情報の公表を実施した。また、能美市ケアマネジャー連絡会に参加することで地域のケアマネジャーとの情報共有や連携が図れた。研修については一部 Zoom 等を活用し、新型コロナウイルス感染対策を講じ、業務に必要な研修や地区エリア会議に参加することで職員の資質向上に努めた。
- ④ 介護予防サービス計画、介護予防・日常生活支援総合事業に係る介護予防ケアマネジメントについては、各あんしん相談センターから居宅介護支援業務に支障のない範囲で受託した。
- ⑤ 能美市から要介護認定調査業務を受託した。

能美市社会福祉協議会 能美居宅介護支援事業所 令和4年度 実績報告

<介護保険事業>

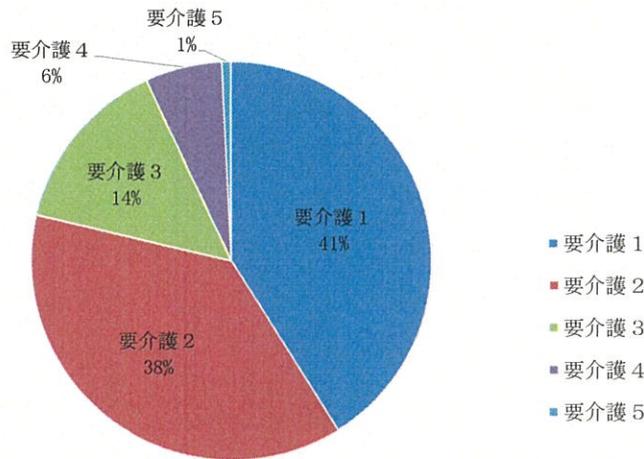
介護保険の要介護の方や家族の要望に基づき、居宅介護サービス月間計画（ケアプラン）を作成（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計件数	ケアマネー人 当たりの件数
作成件数	68	74	72	72	72	65	64	71	73	68	68	45	812	33.8

(内訳)

要介護1	30	33	32	29	29	26	25	29	28	27	27	19	334
要介護2	22	26	25	28	26	25	27	26	28	28	26	18	305
要介護3	11	10	11	11	12	10	10	10	9	9	9	5	117
要介護4	4	4	4	4	4	3	2	6	8	4	4	3	50
要介護5	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	6

介護度別支援割合



<受託事業>

※住宅改修業務：依頼なし

予防プラン作成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計件数
件数	1	1	1	2	1	1	2	4	5	4	4	4	30

認定調査受託

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計件数
件数	1	1	0	2	1	2	2	0	2	0	1	9	21

能美市社会福祉協議会 能美居宅介護支援事業所
令和4年度 実績報告

<収入>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要介護	804,700	867,040	833,800	845,520	843,960	753,480	732,280	858,480	855,220	778,540	788,980	517,460	9,479,460
要支援	4,130	4,130	4,130	8,650	1,520	1,520	10,550	14,680	22,940	13,910	13,910	13,910	113,980
認定調査	2,970	2,970	0	5,940	2,970	5,940	5,940	0	5,940	0	2,970	26,730	62,370
その他(住宅改修のみ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,000
収入計	811,800	874,140	837,930	860,110	848,450	760,940	748,770	873,160	884,100	792,450	805,860	558,100	9,655,810
令和3年度収入計	813,050	834,760	796,750	760,750	802,180	862,380	876,620	855,620	868,710	825,530	840,100	823,310	9,959,760
増減(令和4年度-令和3年度)	△ 1,250	39,380	41,180	99,360	46,270	△ 101,440	△ 127,850	17,540	15,390	△ 33,080	△ 34,240	△ 265,210	△ 303,950
累計	811,800	1,685,940	2,523,870	3,383,980	4,232,430	4,993,370	5,742,140	6,615,300	7,499,400	8,291,850	9,097,710	9,655,810	

<利用者数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要介護	68	74	72	72	72	65	64	71	73	68	68	45	812
要支援	1	1	1	2	1	1	2	4	5	4	4	4	30
認定調査	1	1	0	2	1	2	2	0	2	0	1	9	21
その他(住宅改修のみ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者計	69	75	73	74	73	66	66	75	78	72	72	49	842
令和3年度利用者数計	71	72	70	67	68	75	75	75	76	73	73	69	864
増減(令和4年度-令和3年度)	△ 2	3	3	7	5	△ 9	△ 9	0	2	△ 1	△ 1	△ 20	△ 22